

- ・コラム「あせらず、あわてず、あきらめず」(杉浦 良)
- ・お知らせ(宿泊研修報告、作業所交流会)
- ・リサイクル作業所日記／職員雑感
- ・ご支援下さった皆様 / 編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

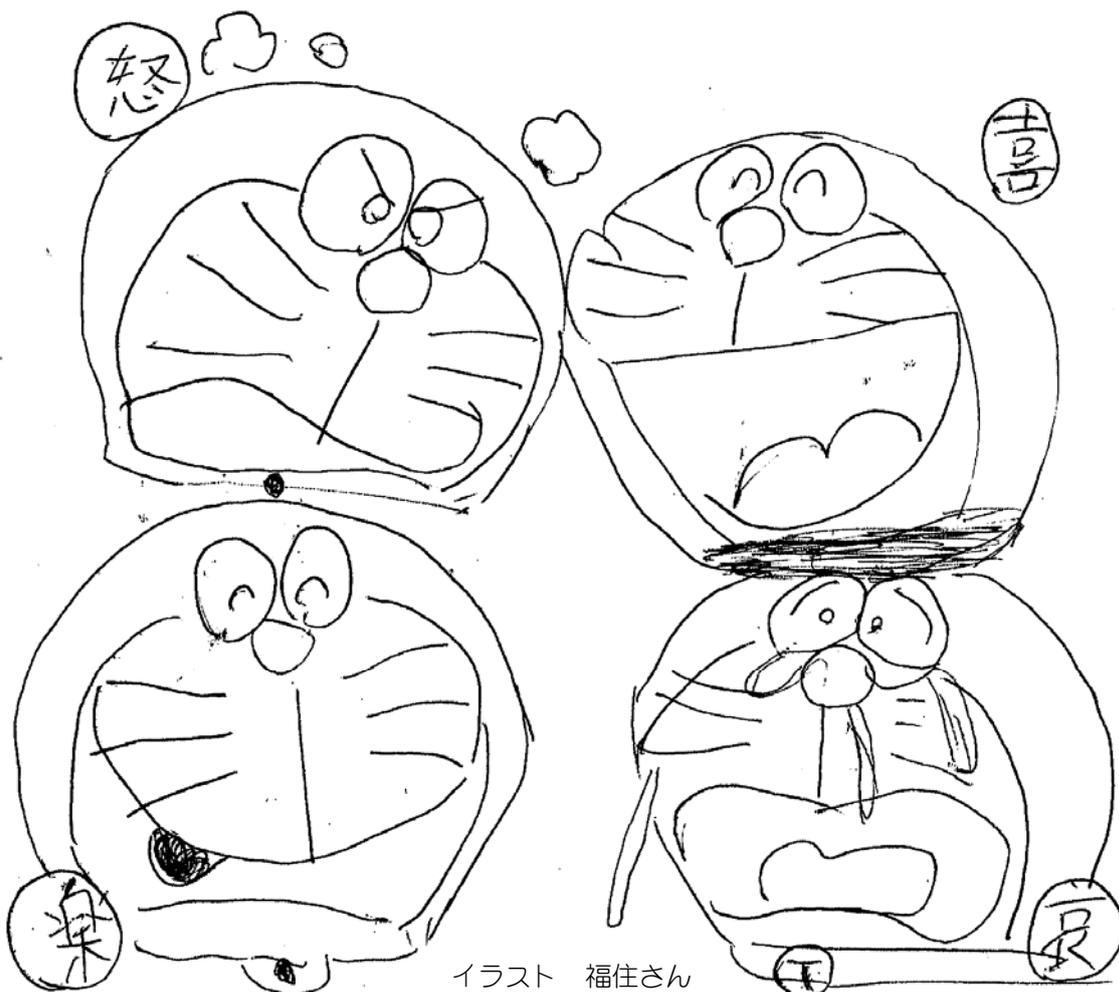
# かわら版

141号/2010年 Since 1984

## —あせらず、あわてず、あきらめず— 杉浦 良

「不憫なこの子を残して、私はよう死ねへんです・・・。何としても、私がしっかりせんといかんと思うてます・・・。」思いつめたような表情に、険しさと行き場のない怒りを押し殺して、Tさんのお母さんは言葉を紡ぎました。「この子に料理なんて・・・、いままで味噌汁一つ作ったことあらしまへん・・・。包丁なんて危のうて・・・。ほんまでっか？でもこの子の味噌汁なんて、よう飲めやしまへんわ・・・。」

仕事も大切ですが、生活トレーニングの一環として、昼の味噌汁作りを行っています。Tさんの作った味噌汁は薄味で、他のメンバーからも美味しいと評判です。ただ、料理上手のお母さんにとって、息子の味噌汁の味付けなどは、論外なのでしょう。



「この子の変な癖さえなければ、外から見たら普通に見えますのに・・・、何とかなりまへんやろか？訳のわからんことするんです・・・。早ようご飯食べたらええのに、首振ったり、茶碗下から覗き込んだり、上から眺めたりで、ご飯食べるのにオマジナイが長いんですわ。折角のご飯も冷めてしもうて、一生懸命作る甲斐があらしまへん。食べるとなると、味噌汁から何から全部グチャグチャにして、飲み込むようにして、アツという間に食べてしまいます。こっちも見ててイライラするんです・・・」

次々と機関銃のように言葉が発せられたかと思うと、急に不安な顔つきになり、あの優秀だった頃のTさんを思い出しては、身に降りかかった不幸を嘆かれます。

「暑い夏に、ギラギラした太陽が頭上から降り注いで、僕は頭がクラクラしてしまって・・・。それ以来、調子が悪くなったんです。薬も飲まんといかんようになって・・・。」そうボソッと語るTさんがありました。勉強もでき優秀だった自慢の息子さんが、それとは別の人生を送ることとなった厳しい現実を、いつか昔のTさんにもどってくれる日を、必死で待ち望むことになります。

月日が流れ、今の現状を受け入れるしかなくなった頃、気丈なお母さんが病で倒れました。不自由な体は、否応なく、料理上手のお母さんを打ちのめします。藁をもすがる気持ちでもがいていると、そこに息子のTさんがいました。「母ちゃん！味噌汁と焼き飯くらいは作れるよ・・・。ご飯も炊けるし・・・。食器洗い

も、洗濯もできるけど・・・。」

以前のTさんは、こちらの言葉が心に届かない状態でした。食器を洗うのに大量の洗剤を使って泡と格闘すること数十分、空を見上げながら洗い桶をかき回すやり方でした。何度注意されても、分りましたと答えるものの、その言葉がTさんの心に届かないのです。しかしそのうち、薄皮をはぐように、1枚1枚心を閉ざすバリアーが取れることで、時々言葉が心に届くようになりました。言葉が届く回数が増えるにつれて、2倍に薄めなければ飲めなかった味噌汁の味や、3倍に薄めなければ甘すぎて飲めなかったコーヒーに、変化が現れました。「Tさんの作った味噌汁が飲めるようになったわ！甘すぎて気持ち悪くなるコーヒーも、普通になってきたな！」そう口やかましくいう他のメンバーたちを尻目に、何やら表情がにこやかなTさんです。

「不憫なこの子のために、私が何とかせんとと、ずーっと思うとったんですが、今ではその子に助けられてますわ・・・。妙なもんですなあ・・・。これに懲りんと、よろしゅうお願いします・・・。」そう語るお母さんの目が赤く潤んでいます。

「優秀なままだったら、一緒におってくれませんわ・・・。悪いことばかりではなくて、少しは良いこともありましたね・・・。」そんな会話が最近できるようになりました。気がつけば、18年ほどの月日が流れて行きました。

(これは日々日常をつなぎ合わせたイメージ論です。)

# お知らせ

## 宿泊研修 in 広島 報告

平成 22 年 11 月 29 日(月)～30 日(火)、財団法人徳島県福祉基金より「地域活動支援センター等の利用者の社会参加を促進する事業」として受けた助成金に自己資金を合わせ、太陽と緑の会リサイクル作業所及び太陽と緑の会月の宮作業所合同の宿泊研修旅行を行いました。研修の参加者は様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア、計 32 名です。

今回の研修では、当会の作業所で働くメンバーが一般就労の現実を学ぶと共に、リサイクルについての見識を深めることを目的として、廃棄物収集処理・資源リサイクルに取り組んでいる㈱オガワエコノス（広島県府中市）の見学を行いました。

また社会参加の一環として、呉市海事歴史科学館、マツダミュージアムの 2 箇所が見学先の候補に上がり、メンバーだけの投票により前者に決定しました。

11 月 29 日午前 9 時、太陽と緑の会リサイクル作業所を出発。午後 1 時 5 分に呉市海事歴史科学館に到着、見学。昼食は手作りのおにぎりとお田さんから頂いたおいしいみかん。

11 月 30 日午後 10 時 50 分に見学先の株式会社オガワエコノス本山工場に到着。2 グループに分かれ、ヘルメット、マスク着用の上、ワイヤレスガイドシステムを使用して、案内が始まりました。

府中市では家庭ごみの収集は市の直営ではなく民間委託で行っており、同社でも市からの委託を受けて収集を行っているとのこと。



家電・パソコンの分解施設にて。パソコンのハードディスクのデータを強磁気により消去する装置の説明。  
実際に使わせて頂き、パンという大きな音にメンバーさんも驚いていました。

家電・パソコンの分解施設、浄水器分解施設、資源選別場（処理能力 43t/日）を案内して頂きました。

家庭用浄水器は切断し、中の活性炭は取り出して活性炭としてリサイクルされ、プラスチック部分はペレット状にして浄水器のカートリッジとしてリサイクルするそうです。

第一資源リサイクル選別場では家庭からの資源ごみを手作業で 23 種類に分別しており、ベルトコンベアに乗って流れて来るゴミをヘルメットとマスクを着用した職員の方が次々と仕分けしていく様子を、メンバーも間近で見ることができました。

同社では 6、7 年前から、障害者支援施設の利用者 5 名が施設の指導員付き添いのもと週 5 日、午前 9 時（10 時）から午後 3 時まで実習を行っており、現在はペットボトルの飲み残しの廃棄や浄水器

分解の作業を行っているが、同社で一般雇用された障がい者の方はいないとのことでした。

廃棄物処理・資源リサイクルを行っている民間企業で、同社のように積極的に外部からの見学者を受け入れている所は珍しいです。小林様、堀様、松岡様をはじめ、何人もの皆様が見学受け入れのためにお時間を割いて下さいました。有難うございました。

12 時 10 分、オガワエコノスの皆様に見送られて同社を出発し、午後 3 時 40 分、太陽と緑の会リサイクル作業所に到着、解散となりました。

今回の研修旅行では、資源リサイクルの現場を間近で見ることができ、そこに携わっている方のお話を伺うこともできました。作業所のメンバー（利用者）さんにとっても、今後の作業を行っていく上で収穫が多い研修になりました。



ペットボトルのリサイクルについての説明。

事業系ごみのペットボトルは、フレーク状にして、最終的に中国でぬいぐるみの中綿になるとのこと。

フレークを実際に触ってみて、メンバーさんも興味津々でした。

## 作業所交流会

11月6日、第8回ふれあいフェスティバル（徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会）が、那賀町（鷲敷B & G海洋センター体育館）にて開催されました。徳島県内の障害者地域共同作業所・地域活動支援センターなど、11箇所から157人の参加がありました。

恒例の成人式では、きのこハウスさんの5名を筆頭に計10名の皆さんの門出をお祝いしました。

今回は、他のイベントと重なってしまったこともあり、いつもより参加者が少なめでしたが、囲碁ボール（ゲートボールに囲碁の面白さをプラスしたスポーツ）、フライングディスクなど、スポーツを通じて交流を深めました。

太陽と緑の会リサイクル作業所から、メンバーは福住さん、成人を迎えた阿部さん、中尾さん、朗読の披露と詩集販売を行った米田さんなど、スタッフは代表杉浦と松村が参加しました。

## 会議・講演・見学

11月9日午後2時～4時 第2回徳島ソーシャルビジネス支援委員会（徳島大学日亜会館） 小山出席

11月11日午後1時半～ 芸術文化祭展示即売会打ち合わせ（徳島県庁）杉浦出席

11月13日～14日 「いま「協同」を拓く2010全国集会 in 四国」（高松市）杉浦が分科会（第11セッション「働く」ことで社会とつながる社会をつくる）のパネリストとして出席 分科会は200人位の方が参加しました。

11月28日午前10時から12時、広島の小規模作業所、地域活動支援センター、障害者福祉サービス事業所などの職員の方23名（13箇所）の皆様が見学に来られました。

12月9日徳島県労働者福祉協議会より職員2名来所見学



第一資源リサイクル選別場で選別されたペットボトルとスチール缶が、上から次々と落ちてきて、このように集積して行きます。

# リサイクル作業所日記 2010

Gさんは、回収担当スタッフの桑内君と、マツダボンゴ (0.85トントラック) に乗って、品物の引き取りに回る。トラックに乗って各家庭を回る回収作業は、メンバーからの人気が高い。

午前中は徳島市内で4件回る予定である。午後は回収担当パート職員松田さんの1.5トントラックが北の鳴門、藍住方面に、桑内君のボンゴが西の吉野川市方面へ向かい、合わせて13件回る予定。

事前にお電話で日時のアポをとってお伺いする。品物の引き取りをご依頼される方のほとんどは口コミで当会のことを知った方である。

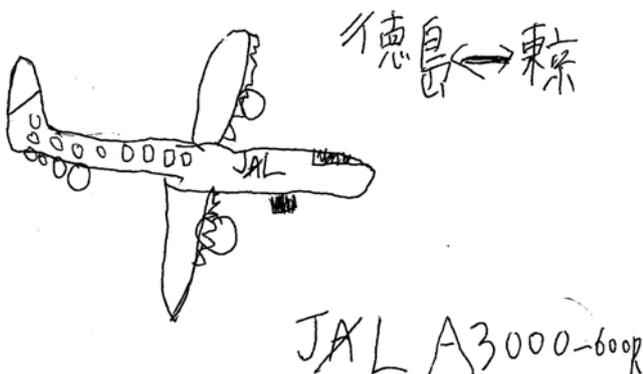
回収先のお宅に到着する。Gさんがインターホンのボタンを押す。

「はい」

「太陽と緑の会です。回収に来ました」

「今開けます」

すでに品物が用意されていた。ゴミ袋に入った衣料品が10袋。段ボールに入った食器・雑貨類が5箱、ひもで縛った新聞・雑誌が10束、それからガレージに子供の自転車が1台。



「以上ですか？」

「これで全部です」

「ありがとうございました」

桑内君とGさんがおじぎをして玄関を出て、トラックに乗ろうとすると、たまたま居合わせた隣の家の方が

「おたく、何でも持って行ってくれるん？」

早速、機関誌をお渡しして、リサイクル活動の案内のページをお見せしてご説明する。

「いらん本がようけあるんやけど、ちょっと見てくれるで」

文庫本、単行本など200冊ほど頂いて帰ることになった。

「まだ他にもいろいろあるけん、用意できたら電話するわ」

「よろしくお願い致します」

(次号に続く)

リサとカスパーのホールのあそび



# 新人職員 雑感

## 理論と実践のはざま

- つながること・食べること・ほかのもの

太陽と緑の会では、週に一度、勉強会が行われている。会の活動を考える上で鍵となるテキストを読み、理論と実践の両方を兼ね備えたかたちで考察することがねらいである（のだと思う）。今は、『べてるの家の「非」援助論—そのままがいいと思えるための25章』（医学書院）を読んでいる。このたびはその〈べてるの家〉について考えたことを書ければと思ったが、まだ勉強会の最中なので次の機会にゆずり、別のテキストについて書いてみたい。とはいえ、関連性はある（と考えている）。今年、左右社より発行された『大澤真幸 THINKING 0』という雑誌がある。この創刊号で、社会学者の大澤真幸氏がペシヤワール会医療サービス（以下、PMS）の中村哲氏を招いて対談を行っている。このテキストから、太陽と緑の会における理論と実践について考えてみたい。[中村哲氏とPMSは、現在、パキスタンとアフガニスタンで医療事業、水源確保事業、農業事業を実践している。]

大澤氏は次のように言う。中村さんの場合、ほかのあいだで普段はあまり話題にのぼらないような遠くの国に行き、そこでの人びとの生活を支える活動を何年間もなさっている。これは、「ここで連帯ができればあらゆる形の連帯が可能になる」というような、ギリギリのケースという感じがしているんです。（大澤真幸 THINKING 0 1号、5-6頁）

中村氏は次のように言う。「人間の平等」という言葉は嫌い。『人類愛』という言葉も嫌いです。そうした言葉で相手を一時的に説得できても、関係は長く続かないですね。……言葉じゃない。実際の行動です。「あなたは困っているのなら、自分たちがしばらくは食わせてやるよ」。そう言って、実際に食わせてやることですね。（同前、18頁）

大澤氏は、中村氏の活動は中村氏ができた以上誰もができうる、そう考えている。そして次のように問う。なぜ成功したのか。中村氏とPMSは、アフガニスタンでの事業にとって、あるいは事業に必要な人々の連帯にとって、なぜ、どのような意味で必要だったのか。言い換えれば、中村氏と

PMSなしで、現地の人々だけで、どうして同じようなことが成し遂げられなかったのか。結論はこうだ。中村さんたちがアフガニスタンの現地の人々にとって他者であること、そのことを通じて可視化する中村さん（たち）の中村さん（たち）自身にとっての他者性が、現地の人々に連帯をもたらす不可欠な触媒となっているのだ、と。（同前、98頁）

「連帯」は太陽と緑の会の活動においても鍵となる理論である。大澤氏は「連帯」を「人とのつながり」として、例えば、私たちが困っている人を目にしたとき、ただ「かわいそうだな」と思うだけでなく、そう感じたらうで、自分が実際に何かすることとしている。「連帯（人とのつながり）」を考えると、「包摂か、排除か」という二項図式の議論がある。社会の包摂性、つまり社会の実効的な許容度、寛容度が低下することにより、社会の中から排除される者がたくさん出てくる。実際、現場には「食べること」がままならないメンバーがいる。この現実には抽象的な理念ではどうにもならない。だからこそ「食べること」、そうした生物体としての認識の基盤をもって、たんに生存するだけでなく「連帯（人とのつながり）」について考えて（実践して）いきたい。他者（性）の問題について、わからないことが多くある。ただ、身体的な近さを感じる生活を送ることが、この問への解答につながると直観している。筆者は中村氏の講演に参加したことがある。中村氏の「助けることは、助かることだ」という言葉を今も憶えている。（専任職員 西村 洋平）

引用・参考文献

大澤真幸・中村哲「「連帯のあたらしいかたち」〈ランダムな線〉」『大澤真幸 THINKING 0 創刊号』左右社、2010年1号。

中村哲『医者、用水路を拓く アフガンの大地から世界の虚構に挑む』石風社、2007年。



イラスト 阿部さん

# 当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2010年10月1日～2010年11月30日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

## ご寄付を下された皆様

西谷、匿名、山田、徳島県職員生活協同組合、松田

(郵便振替口座にご入金下さった皆様) 秋山、桧垣、豊崎医院、太田、滝倉、宗教法人蓮花寺 田中、杉本、滝倉、榎本、吉成、中村、荻野、内原、豊井、河野、佐藤、大谷

## 品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○渡辺、荒木、岩崎、亀山、三原、斉藤、堀内、遠藤、藤岡、美馬、木村、ふとう、高田、南、吉田、本田、森見、岡枝、川島、前田、徳島中央郵便局、井川、カンガルー歯科、広永、柳澤、山田、市原、矢野、川添、小田、小西、浅見、原田、堀江、坂本、長尾、田中、福德、上田、藤本、長野、永峰、豊崎、藤黒、松本、岩佐、佐藤、成川、阿部、山下、浜本、萩野、近藤、橋本、鎌田、小倉、佐川、小山田、山本、亀野、向井、武市、鈴木、橋本、亀井、粟谷、新居、三好、東条、丸宮、益田、吉田、いんでん、藤井、椋本、武岡、佐野、静川、木村、亀谷、笹谷、高橋、吉岡、金子、石原、江本、丸山、池窪、吉田、武岡、藪内、江原、山田、稲井、梶原、大森、河野、山下、稲見、長山、伊藤、小原、横田、平田、藤原、矢木、山内、登、村部、中尾、松原、梶本、東亜合成、中野、広永、石舟、岩本、佐川、佐藤、藤永、椎野、古本、大塚、佐野、さいむら、小田、遠藤、カンガルー歯科、ファミリーマート仲之町店、細川歯科、なんば美容院、中山、天満、名護、中村、丸山、村沢、川原、藤田、西真田、徳島ミシン商会、犬伏、小原、篠原、堀井、つたの、徳島商業高校、森田、梶原、松田、内田、山下、谷

## ご意見・アドバイス・質問用紙

この買った物でいつも心が落ち着きます。
バックミュージックがとにかきつかくてくれた母とよく来た頃の思い出があります。
今日はキャンディーサービスもあり、フィックスういさしました。
いつもありがとうございます。
鳴門市 女性

よろしければご住所とお名前をお願いします。

住所

氏名

電話番号

ご意見有難う御座いました

NPO法人 太陽と緑の会

新館に備え付けのご意見箱に、心あたたまるメッセージを頂きました。

〇、オバリ、富吉、田村、南部、大森、長楽、木室、上原、坂本、前川、近藤整形外科、杉浦、ひかり協会、大櫛、板東、四十宮、西崎、宝仏、きかわ、秋田、高木、小西料理教室、田口、立石、藤井、鎌田、五島、大橋、水口、八万婦人会、犬伏、川島、麻植、村上、西野、赤沢、中島、大平ビルサービス、鈴栄、高橋、中尾、井内、米沢、小松、後藤、十川、株式会社 フルノ、森、勝浦、谷口、七条、河野、田中、美馬、野田、大櫛、水谷コーヒー、西川、森西、山根、久保、安田、すぎの子保育園、小川、桑原、白根、浜口、森上、五島、岡山、木内、島原、引越しセンター 丸一、堀、谷田、森、山口、池本、今田、吉井、小西料理教室、松浦、川人、〇北島町〇大島、江戸川、川崎、平野、橋本〇石井町〇小渡、吉兼、清水、石井キッズ、阿部、長江、西村、田村、橋本、友成〇鳴門市〇大和、丹羽、渡辺、桑村、福原、村沢、久龍、梶村、佐伯、加藤、篠原〇藍住町〇山口、阿部、黒岩、日下、谷、橋本、浜、望月、森、豊田、荒木、滝川〇阿南市〇木村、米山、えんじょう、中川、庄野〇板野町〇西岡、井上書房、犬伏、吉本工務店〇吉野川市〇田中〇小松島市〇塚井、森本、内藤〇上板町〇白石、高峯、多田〇阿波市〇山中〇吉野川市〇かしば、知恵島小学校〇松茂町〇緒方

## 品物を持って来て下さった皆様（郵送含む）

〇徳島市〇田中、佐藤、桑村、木邑、日下、角本、長尾、梶井、佐々木、小田、櫻井、山下、高開、大上、寺奥、岡田、笹田、武市、岸田、井上、吉川、斎村、中島、森、上田、塩田、臼井、鎌田、斉藤、明丸、猪山、森下、大北、明智、沖津、四宮、片岡、岩根、山田、関口、長浜、岩佐、大熊、糸村、結城、吉成、佐中、馬淵、杉本、片平、日野、徳島県職員生活協同組合、板東、安原、宮田、金本、安崎、森下、山本、矢部、中島、瀬川、岩井、山口、久米、坂部、巻、宮内、岩崎、猪児、梅本、中村、三木、宮本、西森、前田、福家、田中、大西、上山、元木、川人、東條、浜田、佐原、原田、太田、多田、松島、松本、久米、四方、堀、斎村、中山、難波、秋山、杉井、安芸、河野、岸本、西尾、田村、妹尾、八田、榎藤、木梨、田所、祖父江、西河、青山、住友、矢野、板東、花谷、星野、米本、尾方、岡本、山崎、三木田、大川、小山、真貝、嶋津、下田、湊、橋本、生田、渡辺、長田、播磨、竹内、向井、正木、服部、須原、五島、伊丹、勝浦、中園、窪川、原田、中西、梶田、脇、小西、櫻本、木村、藤本、有内、川崎、酒井、岡田、桜井、森内、遠藤、勝浦、長谷川、松本、伊勢、原、野崎、藤永、吉本、芝原、

太陽と緑の会 様へ

こんにちは!!  
 皆様で休みの  
 時にでも、会費  
 飲んで下さい。  
 坂野




 三菱UFJ信託銀行

友人とフリーマーケットをいたに残りです。

たいてい物はありませんが

お役に立てれば幸いです。

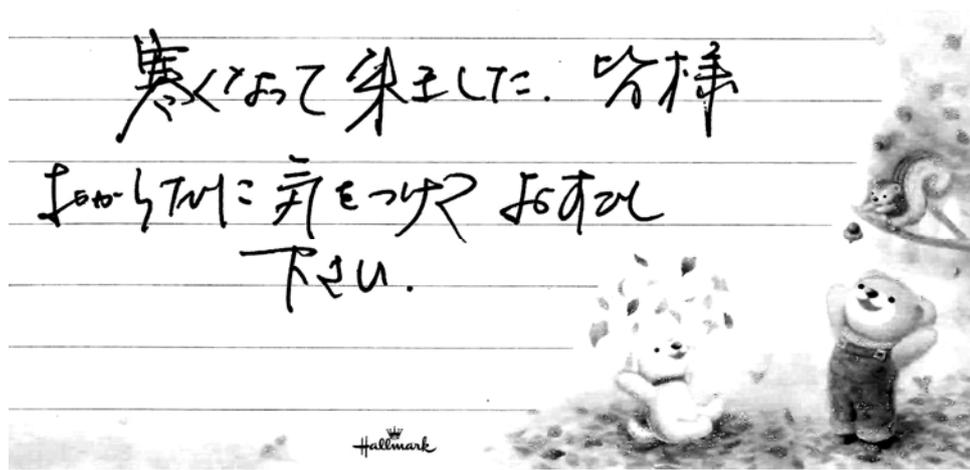
(切手も未使用なので使ってください)

品物を下さった方からのメッセージ

丸笹、細川、桂、宮内、真鍋、妙見、松村、学谷、玉野、村田、宮本、藤原、森本、峯田、三浦、井原、西岡、西、七條、坂本、木田、棕棒、三木谷、合田、中村、加賀、松浦、葉坂、高木、中川、谷、福井、高石、桜田、姫野、三野、山田、篠原、山富、立石、栗尾、犬伏、山本、井上、浜西、吉田、有内、美馬、蔵本、松浦、坂本、桂、天羽、石田、辻、徳島カトリック教会、石川、田中、勝浦、荒岡、粟飯原、久保、大浦、清水、常楽園、武市、野々宮、和田、久米川、大和、中島、紀川、三木、佐々木、峯田、立花、市原、貝出、大山、上倉、広田、東條、田倉、鶺鴒、岩佐、大島、富田、天田、川又、松永、津田、前田、原田、坂本、片岡、三間、大山、武市、清井、吉岡、岡部、服部、黒田、野崎、芝井、西森、大野、磯、清水、原田、吉川、上田、米崎、中元、片山、芦田、乾、岩野、林、松下、井上、花井、大吉、河野、水環境システム、藤井、日野、四国大学チャリティクラブ、山本、土井、坂部、賀好、豊永、岡田、田中、真鍋、菊野、細束、大隈、松並、上山、東、清谷、橋本、佐藤、長尾、木元、川田、相原、山中、(株)トリート、坂本、井内、竹口、古川、西、竹内、吉村、伊藤、大野、坂野、藤川、福田、正木、高橋、吉田、上田、西分、岡本、加藤、兼木、富永、猪子、多田、流、山中、大塚、鳥居、井筒、森、桂、小路、三木、伊川、谷越、吉成、板東、坂部、木元、森住、佐竹、永峰、長楽、森、東、原田、加納、池添、藤吉、木内、大本、澤田、住友、佐藤、殿井、尾方、福盛、小林、中井、中村、友竹、中原、川尻、喜多、沖津、柳沢、玉置、大栗、兼六、藤田、阿部、近森、中河原、広沢、小磯、糸林、川島、八十川、両角、○小松島市○井関、木村、中井、佐藤、湯浅、芝原、柿田、宮田、阿部、山下、高田、生越、長岡、吉岡、三原、林、山岡、井上、西崎、原田○鳴門市○真名野、塩田、山口、元木、宮本、上田、山田、武林、大東、若松、喜多、斉藤、藤川、関口○藍住町○岡田、井出、高瀬、矢野、花谷、佐竹、森、杉村、水口、大崎、河野、榎原、惣田、村上、前川、大寺、片岡、金森、武市、山内、服部、小笠原、梶本、氏家、野口、佐々井、象潟、北口、井上、豊田、大西、日切、○阿南市○久米、武市、四宮、阪野、天羽、領木、中西、桂○石井町○布施、岩佐、矢野、浅井、岩西、片岡、佐野、石本、井上、かさい齒科医院、富山、秋本、岡田、野田、川田、古高、本田、堺、石岡、片山、近藤、片保、吉田、伊勢、石井教会、市川、森野、久米、水田、兼子、小西、西岡、森下、中川、堀江、小川、出口、伊勢、遠藤○北島町○多田、岡島、庄司、三浦、生藤、吉楽、成川、松田、永井、西條○美馬市○黒岩、大西、藤本、竹本、高木、平尾、中川、狭月○吉野川市○鈴木、濱崎、阿部、三木、島田、川野、吉田、藤本、早見、住友、太田、原田、川村、吉岡、麻植、大久保、田中、銚立、上村、鬼岩、富本○阿波市○泉、山中、鹿山、大西、寺井、大塚○神山町○糸丸、佐々木、中崎、鍛、松浦○海陽町○神沢、堀内○板野町○上田、福井、井上、沖津、五條○牟岐町○灘○松茂町○板東○上板町○多田、下木、白井○那賀町○円奈

○香川県○堀地、前田○高知県○南場○愛媛県○浜田○兵庫県○服部○東京都○滝倉、齋藤○神奈川県○林、宇山、坂野○埼玉県○吉田、本田○広島県○NPO びいあらいぶ

寒いので来ました。皆様  
 どうかくれぐれお気をつけて  
 下さい。



いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方もおられ、実際は上記の2倍以上の方のご協力を頂いております。

頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障害者の支援、ボランティア育成、他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

いつも旬のお野菜を差し入れして下さる吉田様、作業所の昼食用にと牛丼等の差し入れをして下さった河野様、みかんを差し入れして下さった多田様、研修旅行用にと差し入れをして下さった小林様、近藤様にも、この場を借りてお礼申し上げます。

ありがとうございました。



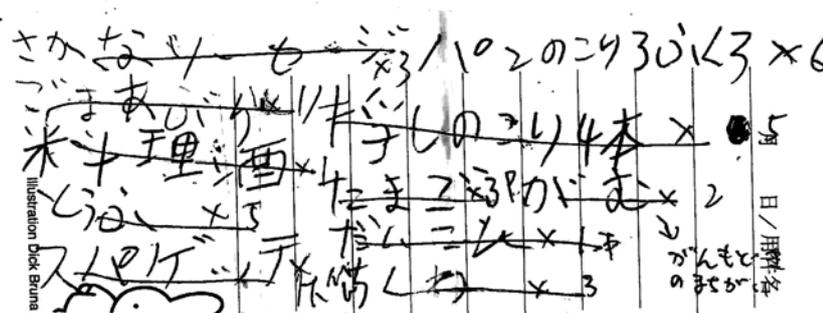
### 編集後記～働くこと～

太陽と緑の会月の宮共同生活棟で生活しているメンバーのAさんはもうすぐ61才を迎えます。太陽と緑の会に来て26年、視覚障害（弱視と視野狭窄）がありますが等級が軽いので、障害基礎年金は受給できません。健常者と同じように、国民年金を還暦まで納め、国民健康保険も払っています。

生活棟の生活費は、太陽と緑の会リサイクル作業所で働いて得られる給料で支払っています。

作業所では主に電話番を担当していますが、できることは限られています。例えば、品物の引き取りのご依頼があったときはお名前とお電話番号をお聞きするだけです。それでも、たまに電話番号の聞き間違いがあります。思考停止状態に陥り、保留ボタンを押したままウロウロすることもあります。自分では分からないことを勝手に判断して、見当違いの話を伝えてしまうことも…。お客様に怒られ、スタッフがお詫びする毎日です。

生活棟のメンバーが書いた食料品の買い出しリスト  
これを見て職員が外回りの合間に買い物  
をします。



月の宮共同生活棟は公的資金が1円も入っておりません（通常のグループホームでは1人当たり年間90万円程度、入所施設であれば1人当たり年間340万円の公的資金が投入）。炊事、洗濯、掃除等の家事は、世話人がするのではなく、生活の当事者である3障害（身体、知的、精神）のメンバー4名が分担して行っています。

自分のできることは自分でやる。できないことはメンバー同士助け合う。それでも難しいことは職員やボランティアの助けを借りる。世話人に頼らない分、生活費も安くできる。市民の皆様のご協力も頂いて働くことで生活費を支払える。

Aさんの場合、年間120万円程度の生活保護費を支給する、家事等については福祉サービスで対応する（障害程度区分の問題で利用できない可能性もありますが）というのが通常の社会福祉です。

裏を返せば、Aさんの営みはそれだけ税金を節約していることになります。国民年金、国民健康保険をきちんと納付して、国の財政にも貢献しています。

多様な働き方を認めることで、なるべくお金のかからない、費用対効果の高い社会になる。その人なりに立っていくことの模索は、本人にとっても社会にとってもプラスである。

財政難の今を乗り切るカギはそこにあるように思います。（小山）

今年も残すところあとわずかとなりました。今年は春先に職員3名を入れメンバーのフォローアップにも力を入れるとともに、家具置き場・駐車場も拡張しました。運営的には、平成18年の新館オープン以来、最も厳しい年となりましたが、おかげさまで1年を乗り切ることができました。

当会は、通常の福祉施設の約7分の1の公的資金と、市民の皆様のご支援・ご協力を頂き、リユース・リサイクルに取り組むことで運営が成り立っています。また微力ではありますが、他団体への経済的・物的支援も行ってきました。皆様に必要として頂いている限り、この活動は持続していきたいと考えております。

本誌をもちまして、新年のご挨拶とさせていただきます。新年もよろしくお願い致します。

### 特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリユース・リサイクル活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域活動支援センター・障害者地域共同作業所とリンクさせて、行っています。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っています。

### 発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会 〒779-3120

徳島県徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX

088-643-1054（事務局）

088-642-1054

（リサイクル、地域活動支援センター）

URL <http://www.t-midori.org/>

E-MAIL [t-midori@jeans.ocn.ne.jp](mailto:t-midori@jeans.ocn.ne.jp)

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

データ入力 岡田 郁子

製本・発送 福住ヒサヨ 宇津辰則 走川幸児

年会費：正会員1万円 準会員1,000円

郵便振替口座：01620-8-44703